

村山古道からの富士山山行報告書



村山古道の一瞬開けた地点からの富士

計画書整理 No.

期 間:平成 29年 7月16日(日) ~7月18日(火)

種 別:個人

山 域:富士山

村山道より富士宮ルートにて登頂後、御殿場ルートを下山

参 加 者:田中利美(L) 鈴木輝明(記録)

コースタイム・記録:

7月16日(日)晴れ

東京駅八重洲南口発(高速バス)8:10 ⇒ 富士宮駅着12:05

富士宮駅発(タクシー) 12:10 ⇒ 村山浅間神社着12:30

村山浅間神社12:45→山の村15:45→大淵林道17:05 (泊)

八重洲口で利ちゃんと待ち合わせ、やきそばEXPRESS一号で富士宮へ向かうが、首都高の工事や三連休の渋滞で到着が一時間半程遅れる。行動時間確保の為、タクシーを奮発して村山浅間神社へ向かう。途中、夏富士の黒い姿を望む事ができた。日本一の山は高く美しい！二日で辿り着けるのか不安になる。



村山浅間神社社務所の古い表富士登山道案内板

浅間神社で軽く腹ごしらえをして、富士の方向へ向かう緩やか舗装道路を夏の里山を楽しみながら暫く進むと村山口の標識が現れる。



村山口の標識

石畳は古道の雰囲気盛り上げてくれたが暫くするとまた舗装道路に出てしまった。夏草が視界を遮りはじめてくるとこの先なかが出てくるか楽しみになる。

誘われるように先へ進む、高低差は無く、踏み跡もしっかり確認出来、赤布も有り、視界がきけば不安は無い。無風の杉林の中を汗を噴き出しながら進む。

暫く行くと「馬頭観世音」が現れる。行く手を阻む鎖を無視して雑草と灌木が茂る道や溝路を赤布を頼りに進む、大ケヤキを過ぎてから、約1時間弱で富士山麓山の村に飛び出した。

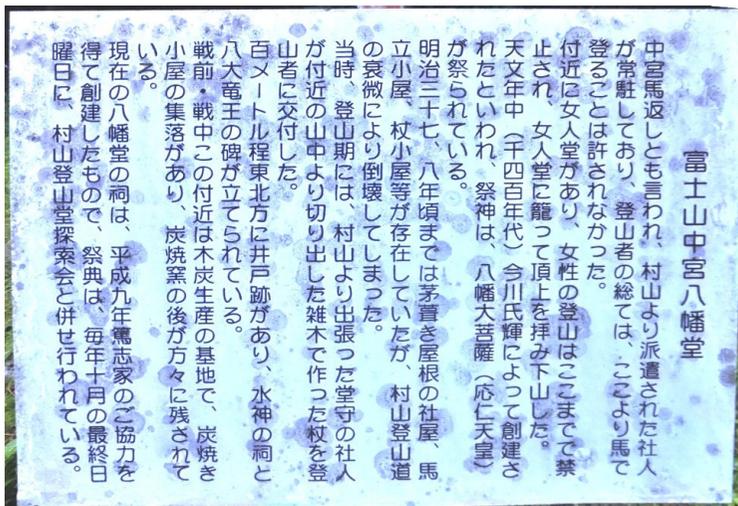
ここまで三時間の行動であるが暑さと重荷でへとへとである。雲行きが怪しくなって来たので軒を借りて一晩過ごしたくなかったが、明日の行動を考えると泊まるわけにはいかない。

一休みの後、日沢を左岸へ渡り前進、大淵林道着 5 : 0 5 にツエルトを張る。

7月17日(月)雨のち曇り、時々晴れ

大淵林道4:35→馬返し4:53→下のスカイライン横断 5:25→上のスカイライン横断
6:25→岩屋不動分岐 7:25→横渡 (右岸へ渡る)8:25→10:40新六合目11:00→
新七合目12:25→ 3000m地点13:35→15:10八合目 池田館泊

八合目 夜半、雨音で目が覚める。今日はどうなることやら少々弱気になる、夜明け前には雨があがる。目指すは頂上で有るが到着できるか？



4:35発、20分程で馬返し
(中宮八幡宮跡)に着く。



馬返し富士山
中宮八幡堂跡→



不動明王



途中で出会った花

馬返しからは苔むしたゆるやかな登りが暫く続き、下の富士スカイラインに飛び出す。更に一時間程で、上のスカイラインに飛び出す。

時折聞こえるバスの音が、雰囲気を変えてしまおう。

このあたりから、勾配が徐々に増し始めると、突然目の前が開けて、前方に富士の姿が現れる。新六合目は遠い。

この先、倒木帯で苦しめられて消耗する。



苦戦した倒木帯

倒木帯を過ぎて、日沢を右岸に渡り暫く直上すると新六合目は目の前である。
ガレ場を登り、やっとの思いで新六号目に到着(10:40)。登山者が大勢いるのでびっくり！
外国人も多い。



倒木帯を抜けて新六合目手前

一休み後、11時に新六合目を出発して富士宮ルートより頂上を目指す。
冷たい風が心地良いが、思うように進まず、どんどん抜かれる。二時間半後、3000m地点到着(13:35)。

その後、休憩を繰り返して 15時10分 八合目にやっと到着。余裕をもって八合目の池田館にチェックイン。

小屋は満員で寝返りもできない。夕食のカレーライスのお代わりがないのも寂しい。寝ている人もいたので声もだせないで、18時頃就寝。

やはり天幕がいい。



富士宮口3000m地点の田中

7月18日(火)晴れ 微風

八合目池田館 1:30→山頂鳥居通過 4:15→ 剣が峰4:40→ 9:20御殿場口
新五合目(乗り合いバス)⇒御殿場駅

0時45分起床、8割位の客が早くから出発準備に取り掛かっている。1時30分小屋発、列をなして登る。ワンピッチ目は調子良く体が動くが、その後思わしくなく休みを繰り返しながら4時15分鳥居通過。剣が峰着4時40分。



富士宮口山頂の富士山本宮浅間大社奥宮

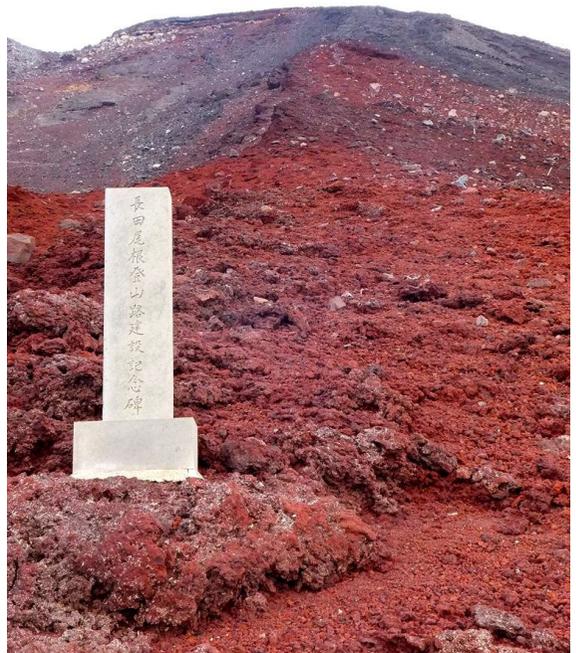


剣が峰測候所前で御来光を浴びる田中



剣が峰からの御来光

剣が峰までの僅かな登りが苦しい。ご来光を拝んだ後、高齢者であることを自覚し、お鉢巡りを断念して御殿場ルートをのんびり下山。新五合目着 9:20。



御殿場口下山途中からの長田尾根



大砂走りでトレーニング中のランナー

新五合目から乗り合いバスで御殿場へ出て、スパリゾートで余韻に浸りながら疲れを癒した。

参考資料

地図「富士山村山古道を歩く 改訂版」NPO 法人シニア大楽 山楽カレッジ

以上